

ふくしまの森林文化調査カード

No.31

県 HP公開の可否 (可 ・ 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野(ふりがな)	(分野) 名所図会	(ふりがな) めいしよずえ	
地域独特の呼び方	—		—
タイトル	二十四輩順拝図会 後編四 山内英司氏寄贈文書141号		
伝承地域	—		
由来(年代)	1809(文化6)年10月に刊行された全国の浄土真宗の有力寺院及びその近辺の名所図会。作者は浄土真宗の僧侶にして河内大谷派専教寺住職でもあった了貞で、挿絵は名所図会の絵を得意とした竹原春泉齋の作品である。		
内容	伊達郡国見町石母田にある義経の腰掛松で、江戸時代には既に全国的に知られた名所であった。脚絆に菅笠姿の二人の旅人は手に杖を持ち、しばしその樹勢に見とれており、右側の天秤を担いでいる従者とみられる人物は感心して眺めている。その解説によると、義経の腰掛松は大木で大木戸(伊達郡国見町大木戸)の傍らの貝田(同町貝田)にあり、弁慶が平泉(岩手県西磐井郡平泉町)下向の折にここで休んだという伝承を載せている。		
大きさ・材質	(大きさ) —	(材質) —	
見頃	—		
交通アクセス	市内バス:福島駅東口～市内循環バス～「文化センター入口」下車 徒歩5分		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	福島県歴史資料館(Tel:024-534-9193)		

キーワード

